

医療安全能力向上のための効果的教育・トレーニングプログラム開発事業

令和7年度

国公立大学附属病院医療安全セミナー

# 本セミナーの位置づけ



大阪大学医学部附属病院  
中央クオリティマネジメント部  
中島 和江

(May 29, 2025, Suita, Osaka)

# 参加者概要

1. 大学病院 (622名)
2. 大学病院以外の医療機関 (52名)
3. 国土交通省、航空関係 (30名)
4. 厚生労働省 (56名)
5. 大学、その他 (26名)

計806名

(講師・座長を含む)

医師:127 歯科医師:17 薬剤師:88 看護師:279 他:163

〈医療機関からの参加者の内訳〉

# 学習目標

1. 医療の安全と質向上に関する最新の施策について理解する
2. 境界を越えた協働を促進するシステムデザインについて学ぶ
3. 患者の価値観を尊重した医療の実現について、最新の知見を得る
4. 複雑適応系の理解を通じて、レジリエント・ヘルスケアの実践方法を学ぶ

# 午前のセッション

- ・国の施策の最新情報
- ・アレルギー情報が全国で共有されるシステム

1. 大学病院を取り巻く諸課題
2. 医療安全推進にかかわる厚生労働行政の動向
3. はじまる医療DX  
アレルギー等情報を多施設で共有するために
4. 医療現場と病院内弁護士の協働とその効果
5. クリティカルケアにおける多職種連携～薬剤師の力～
6. がんチーム医療における薬剤師の役割と医療安全への貢献

# 午前のセッション

職種を越えた協働を促進する  
バウンダリースパナーの活躍

1. 大学病院を取り巻く諸課題
2. 医療安全推進にかかわる厚生労働行政の動向
3. はじまる医療DX  
アレルギー等情報を多施設で共有するために
4. 医療現場と病院内弁護士の協働とその効果
5. クリティカルケアにおける多職種連携～薬剤師の力～
6. がんチーム医療における  
薬剤師の役割と医療安全への貢献

# 午後のセッション

1. 患者の価値観を尊重した医療の実現において
2. 質・安全を客観的に表現する手法を学ぶ
3. 高齢化社会における外科手術の質・安全
4. 事故再発防止対策立案導出の考え方
5. 医療AIと医療安全
6. レジリエント・ヘルスケア理論を

Person-centered care,  
Patient Family Engagement  
の実践

# 午後のセッション

1. 患者の価値観を尊重した医療の実現において
  2. 質・安全を客観的に表現する手法を学ぶ
  3. 高齢化社会における外科手術の質・安全
  4. 事故再発防止対策立案導出の考え方
  5. 医療AIと医療安全
  6. レジリエント・ヘルスケア理論を用いた医療安全・質向上の実践
- データサイエンスと見える化

# 午後のセッション

1. 患者の価値観を尊重した医療の実現において
2. 質・安全を客観的に表現する手法を学ぶ
3. 高齢化社会における外科手術の質・安全
4. 事故再発防止対策立案導出の考え方
5. **医療AIと医療安全**
6. レジリエント・ヘルスケア理論を用いた医療安全・質向上の実践

生成AI と安全と働き方改革

# 午後のセッション

複雑適応系における  
質・安全へのアプローチ

1. 患者の価値観を尊重した医療の実現に向けた
2. 質・安全を客観的に表現する手法を学ぶ
3. 高齢化社会における外科手術の質・安全
4. 事故再発防止対策立案導出の考え方
5. 医療AIと医療安全
6. レジリエント・ヘルスケア理論を用いた  
医療安全・質向上の実践